

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	家庭	科目	保育基礎	学年	第3学年	類型	I型選択
単位数	2単位	教科書	保育基礎　ようこそ、ともに育ち合う保育の世界へ（教育図書）				
補助教材							

学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を養う。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4 月	3 章 子どもの生活	乳幼児に適した被服の素材・型を知り、適切で安全な被服 選択ができる。適切な寝具やおむつの使い方を理解する。 子どもの病気について知り、予防接種の大切さを理解する。 応急処置の知識を得、住まいに潜む危険を理解する。 子どもに対する認識の歴史を知る。日本の児童観の変遷と 社会環境や法制度のしくみについて理解する。	期末考査
	5 月	③子どもの衣服と寝具		
	6 月	④子どもの健康と安全		
	7 月	4 章 子どもの福祉 ①保育にみる児童観		
2 学期	8 月	②児童福祉の理念と法規・制度	子どもの福祉や理念について理解し、歴史的経緯を知る。 関連する法律や施設の役割について理解する。	期末考査
	9 月	5 章 子どもの文化	子どもの文化やそれを支える場が、子どもの健康で豊かな生 活の実現のために果たす役割や意義を理解する。 子どもの健やかな発達における遊びの重要性や意義を、おも ちゃづくりなどの活動を通じて理解する。子どもの遊びが、 社会の変化の影響を受けて変容していることを知り、どのよう な課題があるかを考える。	
	10 月	①子ども文化の意義		
	11 月	②子どもの文化を支える場		
	12 月	③子どもと遊び		
3 学期	1 月	④子どもの表現活動	子どもの表現活動によって培われる能力について知り、表現 活動の重要性や意義を理解する。表現活動で子どもの意欲を引 き出し、心身を育むための保育者としての適切なかわり方を 理解する。	学年末考査
	2 月			
	3 月			

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習する。 保育技術検定を受検することにより、目標を持ち、達成感を味わいながら保育に関する実践力の向上を目指す。
-------	---

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養っている。	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を養っている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価します。		